

事 務 事 業 評 価 シ ー ト

評価対象年度	平成 23 年度
--------	----------

【事務事業の基本的事項】

事務事業名	児童館及び児童遊園地施設維持管理費			
担当課係名	子育て推進 課	子育て支援 係	作成者	齋藤 千春
総合計画での位置づけ	施策の大綱	すべての生命を慈しむ健康福祉のまち		総合計画のページ 51
	基本計画	子育て支援と保育体制の充実		
	主要施策	子育てを支援する生活環境の整備		
予算費目	一般 会計	3 款 民生費	2 項 児童福祉費	3 目 児童福祉施設費
事業期間	平成 - 年度 ~ 平成 - 年度		新規/継続の区分	継続
性質区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービス <input type="checkbox"/> 公共事業 <input type="checkbox"/> 施設維持管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 内部管理			
根拠法令等	仙北市児童館条例、仙北市児童館管理規則			
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直 営 <input type="checkbox"/> 直営（一部民間委託） <input type="checkbox"/> 民間委託（全部） <input type="checkbox"/> 補 助			

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	0才から18才未満までの児童
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	児童厚生施設として、子供たちに遊びの場と遊びを提供し、遊びを通じて児童が心身ともに健やかに成長するよう努める。
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	子供たちに遊びの場と遊びを提供すると共に、施設の維持管理及び安全管理を行う。

【事務事業の推移】

項 目		単 位	23年度実績			
効果	活動指標	児童館・児童湯園地数	目標			
			実績	箇所	23	
			達成度			
	成果指標	維持管理費	目標			
			実績	円	575,272	
			達成度			
投下コスト	項 目		総事業費	23年度決算額(千円)		
	事業費（人件費を除く）(A)		—	13,231		
	人 件 費 (B)		—	1,102		
	職 員 数		—	0.13		
	職 員 平 均 人 件 費		—	8,479		
	(A) + (B) 投下コスト		—	14,333		
	財源内訳	国 庫 支 出 金			0	
		県 支 出 金			0	
		地 方 債			0	
		そ の 他			0	
		一 般 財 源			14,333	
単位コスト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—	623,174		
	市民1人当たりのコスト(円)		—	482		

【事務事業の今までの成果】

角館地区の児童館（角館・中川）については需要があるが、田沢湖地区の児童館については、9施設あったが2施設を条例から廃止し、地域へ譲渡する手続きを行っている。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	核家族化の進展、女性の就労の増加等により、児童を取り巻く環境が大きく変化しているため、地域の健全育成拠点としての児童館の計画的な整備が必要とされている。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	老朽化等によって撤去された遊具が更新されない。

【一次評価】

判定	事業の方向性	判定に至った理由
C 3	A 現状のまま継続（実施）	児童の減少により児童館としての役割を果たしていない田沢湖地区の7施設について検討が必要である。
	B 1 見直しの上で継続（拡大）	
	B 2 見直しの上で継続（手段改善等）	
	B 3 見直しの上で継続（縮小）	
	C 1 大幅な見直しの上で継続（拡大）	
	C 2 大幅な見直しの上で継続（手段改善等）	
	C 3 大幅な見直しの上で継続（縮小）	
	D 休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	
	E 終了（完成及び目的を達成し終了した事業）	

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

児童館については、角館地区の2施設についてはこれを維持し、田沢湖地区の7施設については、廃止、解体または地域へ譲渡できるか協議を進める。

【二次評価】

判定	判定に至った理由
C 2	児童館の役割を再検討し、必要な児童館については維持管理を積極的に行い、子供たちが安全に遊べる場を提供すべきと考えます。

